

LAC → B ←
supports your business

*We provide IT total solutions
based on advanced security technologies.*

LAC
ともに、イキル

2019年3月期 第2四半期決算説明資料

2018年11月1日

株式会社ラック

1. 2019年3月期 第2四半期決算概要

2. 2019年3月期 連結業績予想

5月9日公表の業績予想から変更はありません

3. 補足資料

売上高は微減、サービス売上の伸長により大幅増益 ～SSS事業が増収増益となり利益に大きく貢献～

（百万円）

科目	'18年3月期 2Q累計実績	'19年3月期 2Q累計実績	前年同期比増減	
			差異	率(%)
売上高	17,919	17,757	△162	△0.9
営業利益	299	571	+272	+91.1
営業利益率%	1.7	3.2	+1.6p	-
経常利益	295	560	+265	+89.8
経常利益率%	1.6	3.2	+1.5p	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	92	276	+183	+197.9

（注）第1四半期連結累計期間より、2018年4月2日に連結子会社化した株式会社アジアリンクを連結業績に組み入れております。

増減ポイント

【売上高】

- ・ SSS事業の増収 +1,396
（保守サービスを除く各サブセグメントで増収）
- ・ SIS事業の減収 △1,559
（開発サービスは増収、他のサブセグメントは減収）

【営業利益】

- サービス売上の伸長により増益
- ・ 売上原価の減少 +745
- ・ 販管費の増加 △310

【親会社株主に帰属する四半期純利益】

- ・ 経常利益の増加 +265
（持分法適用会社の利益の減少 △9）

**売上高は、開発サービスの期ズレ、HW/SW販売の未達により予想を下回る。
営業利益は、販管費抑制などにより予想を上回る**

（百万円）

科目	'18年3月期 2Q累計予想	'19年3月期 2Q累計実績	前年同期比増減	
			差異	率(%)
売上高	19,900	17,757	△2,142	△10.8
営業利益	500	571	+71	+14.4
営業利益率%	2.5	3.2	+0.7p	-
経常利益	505	560	+55	+10.9
経常利益率%	2.5	3.2	+0.6p	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	270	276	+6	+2.5

増減ポイント

【売上高】

・ SSS事業 △312
（診断、製品は計画を上回ったものの、他のサブセグメントで計画を下回る。）

・ SIS事業 △1,830
（IT保守、ソリューションは計画を上回る。開発サービスは売上計上の期ズレ、HW/SWは想定したほどの案件増に至らず計画を下回る。）

【営業利益】

仕掛の増加や仕入・外注費の減少、販管費の抑制などにより予想を上回る。

・ 売上原価の減少 +1,871
・ 販管費の減少 + 343

SSS事業は大幅に増収増益、SIS事業は減収増益

（百万円）

売上高	'18年3月期 2Q累計実績	'19年3月期 2Q累計実績	前年同期比増減	
			増減額	増減率(%)
セキュリティソリューション サービス (SSS) 事業※	5,410	6,807	+1,396	+25.8
システムインテグレーション サービス (SIS) 事業	12,509	10,949	△1,559	△12.5
合計	17,919	17,757	△162	△0.9

（百万円）

セグメント利益	'18年3月期 2Q累計実績	'19年3月期 2Q累計実績	前年同期比増減	
			増減額	増減率(%)
セキュリティソリューション サービス (SSS) 事業※	506	892	+386	+76.2
システムインテグレーション サービス (SIS) 事業	1,093	1,213	+120	+11.0
全社共通費用	△1,300	△1,534	△234	-
合計	299	571	+272	+91.1

※第1四半期連結累計期間より、株式会社アジアリンクの業績が組み入れられております。

サービスを中心に大幅増収、利益も大幅に伸長

●コンサルティングサービス

顧客常駐型サービスが横ばい、緊急対応サービスが堅調

●診断サービス

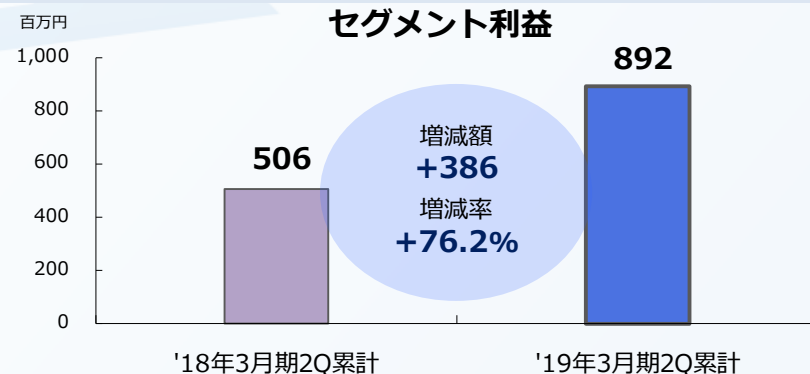
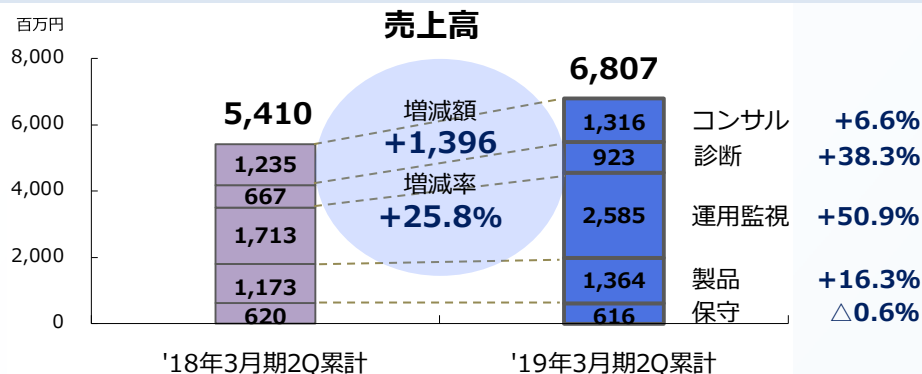
主力のWebアプリケーション診断に加え、スマートフォンアプリケーション診断が好調

●運用監視サービス

株式会社アジアリンクの組み入れや、中部地域大手製造業向け運用監視サービスの売上計上などにより増収

●製品販売

クラウドに対応した高度な機能を備えた製品販売が好調



HW/SW販売が低調に推移し減収、のれん償却額負担減等もあり増益

●開発サービス

中核であった大手銀行業向けは大幅減となったものの、旅行業や人材派遣業など銀行業以外の案件が好調

●HW/SW販売

クラウドサービス活用などによる需要縮小に加え、前期は大型案件があったものの当期は同様の案件がなく大幅減収

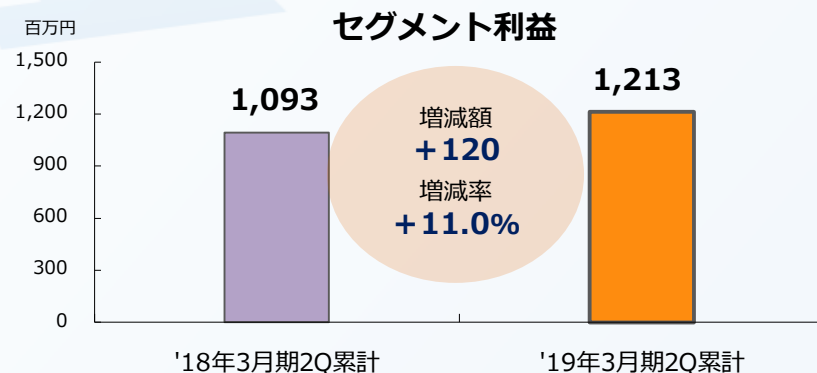
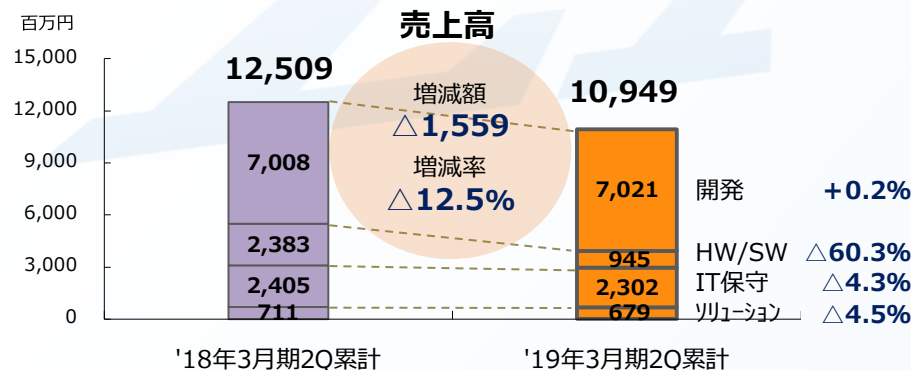
●IT保守サービス

前期のHW/SW販売が低調であったことにより減収

●ソリューションサービス

アプリケーションパフォーマンス管理ソリューションの売上減により減収

セグメント利益は、のれん償却額負担減など販管費の減もあり増益



連結貸借対照表ハイライト（前期末比）

十分な資金を保持しつつ、引き続き安定した財務基盤を維持

（百万円）

科目	‘18年3月期末	‘19年3月期 2Q末	前期末比 増減
資産合計	19,909	20,401	+491
流動資産	14,641	14,530	△111
固定資産	5,268	5,871	+603
負債合計	9,817	10,076	+258
流動負債	9,624	9,895	+270
固定負債	193	180	△12
純資産合計	10,092	10,325	+233
現預金	5,103	4,509	△593
有利子負債	739	1,618	+878
自己資本比率	50.7%	50.6%	△0.1p

増減ポイント

資産

【流動資産】

- ・受取手形及び売掛金の減少 △1,544
- ・現金及び預金の減少 △593
- ・前払費用の増加 +986
- ・仕掛品の増加 +826

【固定資産】

- ・のれんの増加 +533

負債

【流動負債】

- ・短期借入金の増加 +1,200
- ・買掛金の減少 △439
- ・長期借入金の減少 △267

純資産

【純資産】

- ・利益剰余金の減少 △7
- ・資本剰余金の増加 +191
- ・自己株式の減少 +49

償却前利益は確保・増加したものの、運転資本要因により 営業キャッシュ・フローは振るわず

(百万円)

科目	'18年3月期 2Q累計実績	'19年3月期 2Q累計実績
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,619	△523
投資活動によるキャッシュ・フロー	△702	△390
財務活動によるキャッシュ・フロー	△614	317
フリーキャッシュ・フロー	917	△914
現金および現金同等物の増減額（△は減少）	299	△593
現金および現金同等物期首残高	4,969	5,103
現金および現金同等物期末残高	5,268	4,509

発生ポイント

営業キャッシュ・フロー

・税前当期純利益	559
・減価償却費	288
・のれん償却額	189
・売上債権の減少額	1,726
・たな卸資産の増加額	△1,076
・その他の流動資産(主に前払費用)の増加額	△915
・仕入債務の減少額	△503
・法人税等の支払額	△505

投資キャッシュ・フロー

・子会社株式取得による支出	△98
・有形固定資産の取得による支出	△200
・ソフトウェアの取得による支出	△151

財務キャッシュ・フロー

・短期借入金の純増額	1,090
・長期借入金の返済による支出	△451
・配当金の支払額	△284

セキュリティ事業のサービス強化を推進

●産業分野向けサービスの拡充

- ・IoT機器のセキュリティ診断サービスのメニュー化（2018年5月）
- ・産業制御システム向けリスクアセスメントサービスのメニュー化（2018年8月）

●中堅・中小企業向けサービスの展開

- ・低価格の監視サービスを実現するサービス基盤「CloudFalcon」の提供（2018年10月）

●脅威情報（スレットインテリジェンス）のサービス提供

- ・セキュリティ製品の防御能力を飛躍させる脅威情報「JLIST」の提供（2018年8月）

●サイバー保険と連動したサービス展開

- ・国内初、サイバー保険を付帯した「事故補償パック for JSOC」の提供（2018年10月）

拠点拡充など体制強化を推進

● アジャイル開発センターの設置(2018年7月)

- ・ 柔軟な開発を可能とする、顧客課題解決型のS I 事業の推進

● 新事業開発部の設置(2018年10月)

- ・ スタートアップ企業の出資なども視野に入れた新事業の推進

● 拠点の拡充

- ・ ASEAN市場拡大の起点となるシンガポール支店の設置 (2018年7月)
- ・ 地域の人材確保と事業展開の一環として「ラックテクノセンター北九州」開設

(2019年1月予定)



8月1日に実施された、北九州市市役所本庁舎での記者会見の様子
(左から)ラック社長 西本、北九州市 北橋市長

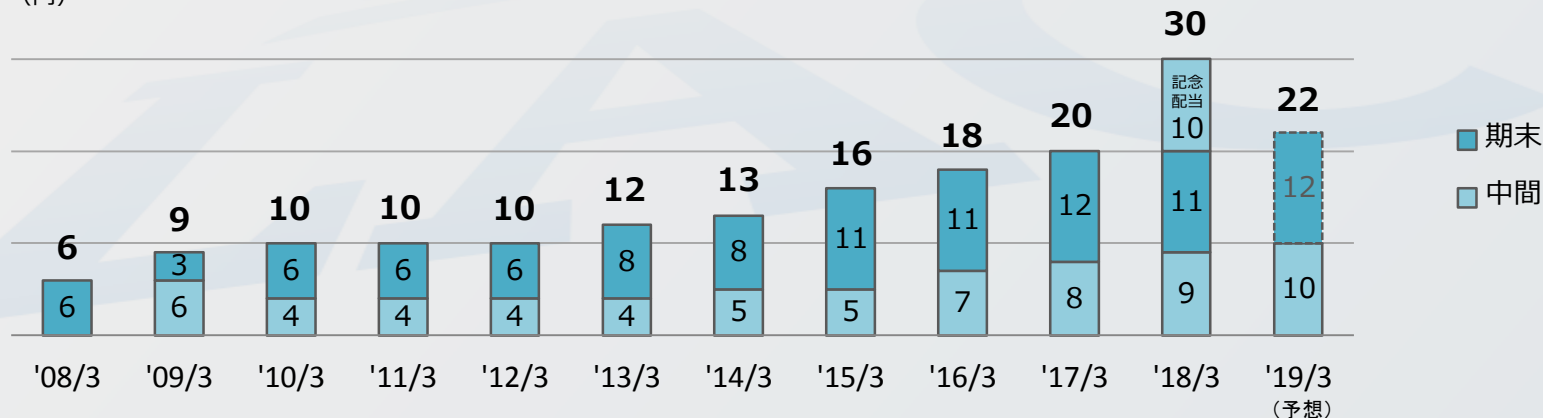
中間配当は10円の実施予定

配当方針

- ・ 長期的かつ安定的に保有いただくことを目的に、継続的に安定した配当水準を維持
- ・ 基本指標はDOE（株主資本配当率）5%

配当金

(円)



DOE

2.8% 4.2% 5.1% 5.2% 4.8% 5.2% 5.0% 5.5% 5.5% 5.5% 5.1% 5.5

(記念配当を除く)

1. 2019年3月期 第2四半期決算概要

2. 2019年3月期 連結業績予想

5月9日公表の業績予想から変更はありません

3. 補足資料

SSS事業、SIS事業が伸長し増収増益

（百万円）

科目	'18年3月期 通期実績	'19年3月期 通期予想	前期比増減	
			差異	率(%)
売上高	38,432	43,400	+4,967	+12.9
営業利益	2,224	2,500	+275	+12.4
営業利益率%	5.8	5.8	△0.0 p	-
経常利益	2,349	2,550	+200	+8.5
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,252	1,740	+487	+38.9
自己資本当期純利益率(ROE)%	12.7	16.1	+3.4 p	-

増減ポイント

【売上高】

・SSS事業 前期比増 +3,366

→コンサルティングを除き、
全サブセグメントで前期を
上回る見通し

・SIS事業 前期比増 +1,600

→IT保守を除き全サブセグメントで
前期を上回る見通し

【営業利益】

人的投資などの経費増を増収効果に
より吸収

- ・売上総利益の増加 約15億円
- ・販管費の増加 約12億円

SSS事業、SIS事業ともに増収増益 管理部門の人的投資等により全社経費が増加する見通し

（百万円）

売上高	'18年3月期 通期実績	'19年3月期 通期予想	前期比	
			増減額	増減率%
セキュリティソリューション サービス（SSS）事業	13,333	16,700	+3,366	+25.3
システムインテグレーション サービス（SIS）事業	25,099	26,700	+1,600	+6.4
合計	38,432	43,400	+4,967	+12.9

（百万円）

セグメント利益	'18年3月期 通期実績	'19年3月期 通期予想	前期比	
			増減額	増減率%
セキュリティソリューション サービス（SSS）事業	2,239	2,570	+330	+14.7
システムインテグレーション サービス（SIS）事業	2,623	3,200	+576	+22.0
全社共通費用	△2,639	△3,270	△630	△23.9
合計	2,224	2,500	+275	+12.4

セグメント別業績予想（通期）

（百万円）

売上高	‘18年3月期		‘19年3月期		前期比	
	通期実績	構成比%	通期予想	構成比%	増減額	増減率%
セキュリティソリューションサービス（SSS）事業	13,333	34.7	16,700	38.5	+3,366	+25.3
セキュリティコンサルティングサービス	3,536	9.2	3,300	7.6	△236	△6.7
セキュリティ診断サービス	1,983	5.2	2,370	5.5	+386	+19.5
セキュリティ運用監視サービス	3,795	9.9	6,480	14.9	+2,684	+70.7
セキュリティ製品販売	2,759	7.2	3,240	7.5	+480	+17.4
セキュリティ保守サービス	1,257	3.2	1,310	3.0	+52	+4.1
システムインテグレーションサービス(SIS)事業	25,099	65.3	26,700	61.5	+1,600	+6.4
開発サービス	15,388	40.0	16,720	38.5	+1,331	+8.7
HW／SW販売	3,399	8.8	4,200	9.7	+800	+23.5
I T保守サービス	4,753	12.4	4,180	9.6	△573	△12.1
ソリューションサービス	1,557	4.1	1,600	3.7	+42	+2.7
合計	38,432	100.0	43,400	100.0	+4,967	+12.9

1. 2019年3月期 第2四半期決算概要

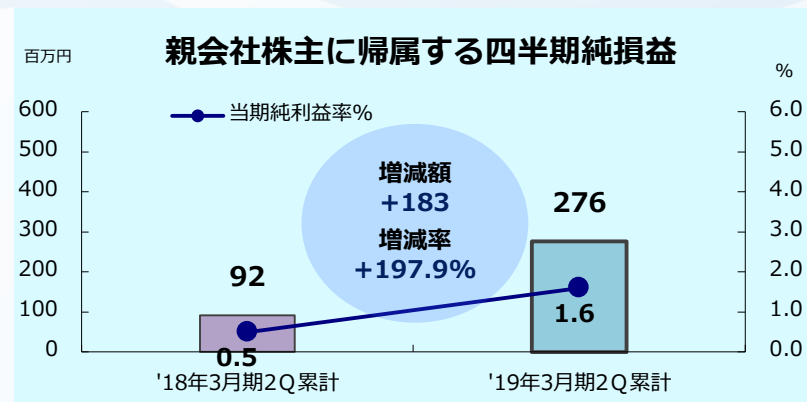
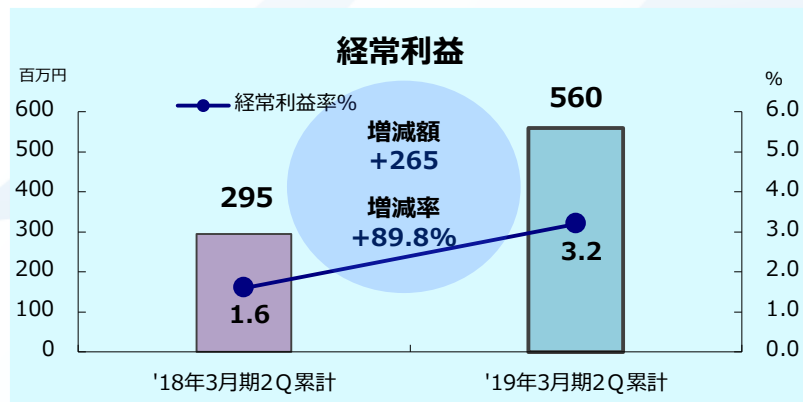
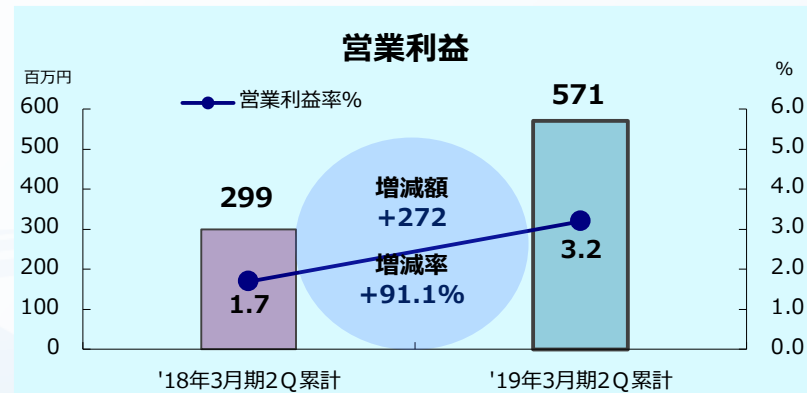
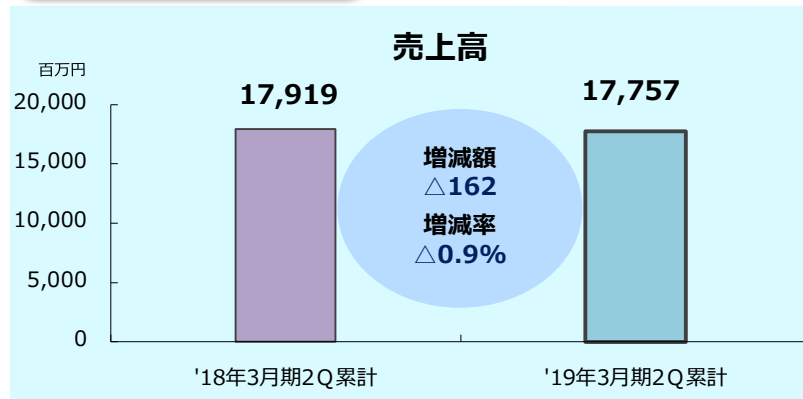
2. 2019年3月期 連結業績予想

5月9日公表の業績予想から変更はありません

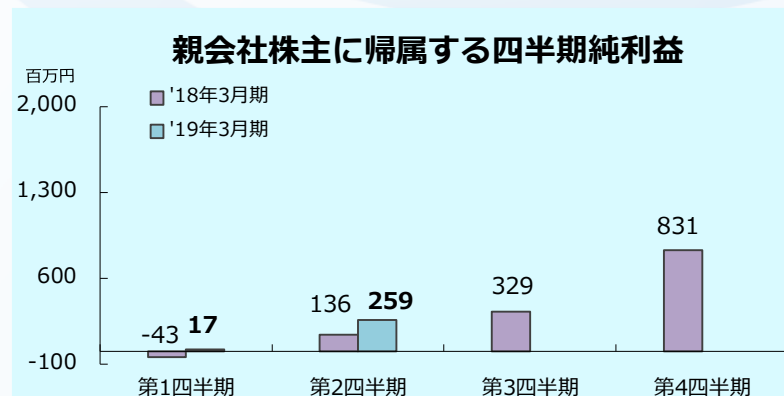
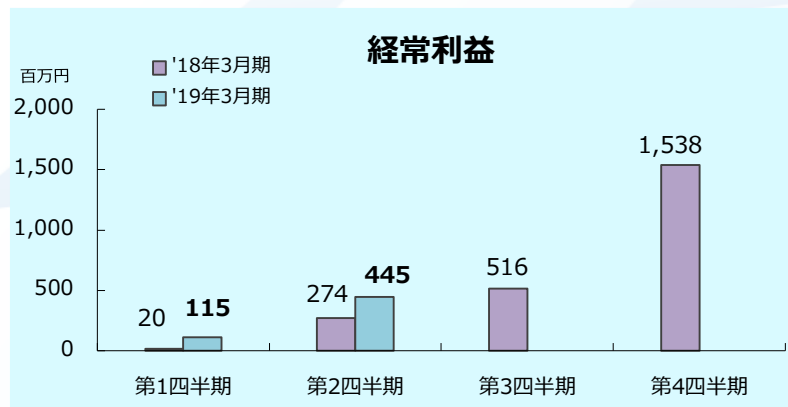
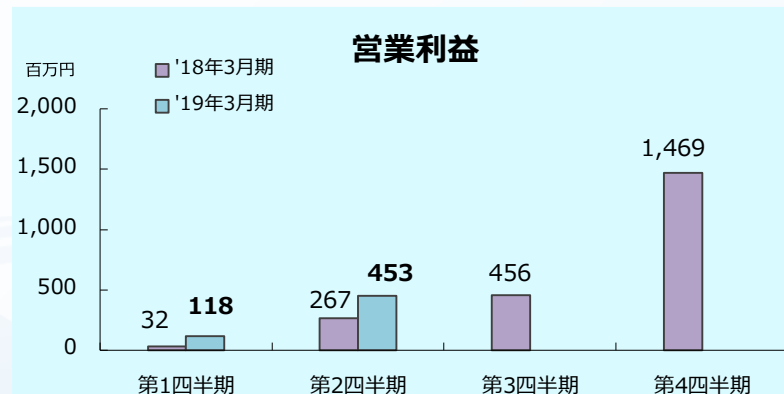
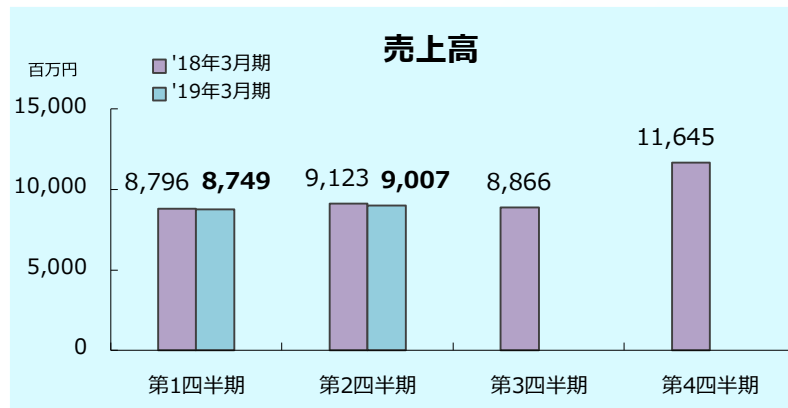
3. 補足資料

2019年3月期 連結業績（2Q累計）

前年同期比



前年同期比



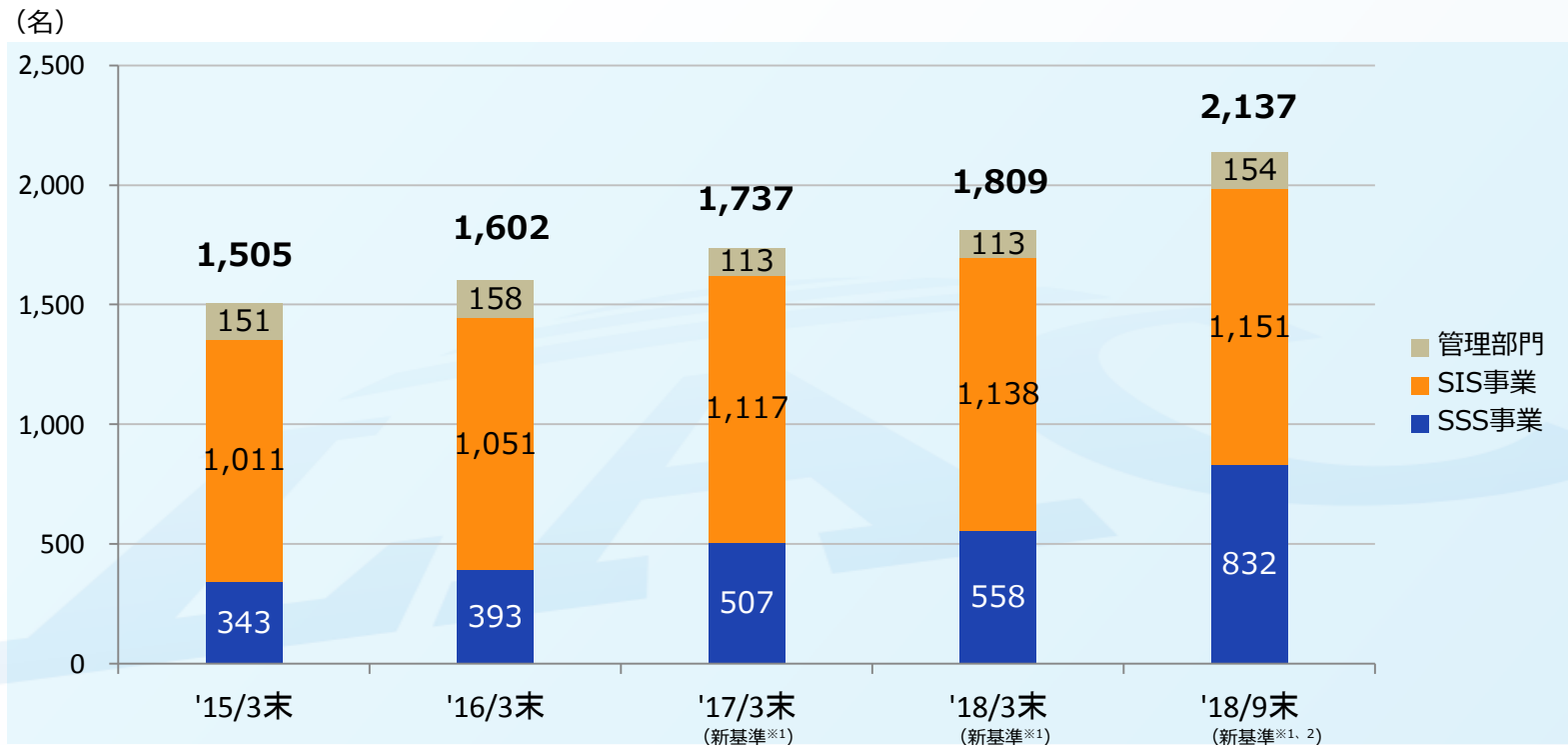
2019年3月期 セグメント別業績（2Q累計）

前年同期比

（百万円）

売上高	'18年3月期		'19年3月期		前年同期比	
	2Q累計実績	構成比%	2Q累計実績	構成比%	増減額	増減率%
セキュリティソリューションサービス（SSS）事業	5,410	30.2	6,807	38.3	+1,396	+25.8
セキュリティコンサルティングサービス	1,235	6.9	1,316	7.4	+81	+6.6
セキュリティ診断サービス	667	3.7	923	5.2	+255	+38.3
セキュリティ運用監視サービス	1,713	9.6	2,585	14.6	+872	+50.9
セキュリティ製品販売	1,173	6.5	1,364	7.7	+191	+16.3
セキュリティ保守サービス	620	3.5	616	3.4	△3	△0.6
システムインテグレーションサービス(SIS)事業	12,509	69.8	10,949	61.7	△1,559	△12.5
開発サービス	7,008	39.1	7,021	39.6	+13	+0.2
HW／SW販売	2,383	13.3	945	5.3	△1,438	△60.3
IT保守サービス	2,405	13.4	2,302	13.0	△102	△4.3
ソリューションサービス	711	4.0	679	3.8	△31	△4.5
合計	17,919	100.0	17,757	100.0	△162	△0.9

連結従業員数の推移



※1 2018年3月期より、定年再雇用の増加や契約の長期化などを鑑み、契約社員を含めた基準に変更しています。加えて、主に管理部門において、関連する業務に沿った事業区分に見直しています。なお、SSS、SISの両事業に携わる従業員について、稼動状況を踏まえた区分としております。
2017年3月末の人員数は同基準により遡及して算出していますが、2016年3月末以前については従来基準の従業員数となっています。

※2 2018年9月末のSSS事業における連結従業員数は、2018年4月2日に子会社化した株式会社アジアリンクの従業員が含まれています。

■ IoTセキュリティ診断サービス開始（2018年5月）

工場やオフィスなどで導入が進んでいる多種多様なIoT機器に対し、ソフトウェア、ハードウェア、ネットワークに至るまで総合的な脆弱性診断を実施。

主な特徴

- ・ IoT機器の動作環境に応じ、最適な診断項目を選択
- ・ ラック独自の最新のIoTセキュリティ情報を活用した診断手法
- ・ 各種IoTセキュリティガイドに適応したセキュリティレベルを確保

■ シンガポール支店を設立（2018年7月）

ASEAN地域で成長を目指す日系企業の事業展開を、セキュリティ対策で支援する起点として開設。

名 称	株式会社ラック シンガポール支店
所 在 地	80 Robinson Road #10-01A Singapore 068898
開 設 日	2018年7月1日
業務内容	ASEAN地域でのサイバーセキュリティサービスの提供

■ 脅威情報(スレットインテリジェンス)提供サービスを開始 (2018年8月)

セキュリティ監視、マルウェア分析、技術研究の3つの精鋭部門における膨大な知見をまとめてデータベース化し、独自の脅威情報「JLIST」として提供。

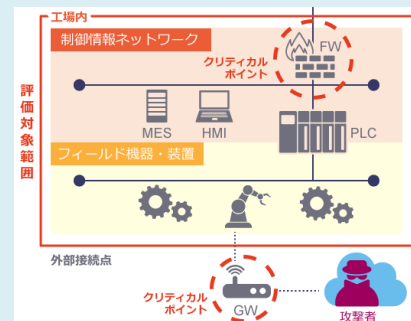
これにより、最新の脅威や日本特有のサイバー攻撃の脅威に対し、市販のセキュリティ対策製品の防御能力を飛躍的に向上。



■ 産業制御システム向けリスクアセスメントサービスを開始 (2018年8月)

工場におけるネットワーク化された制御系システムに対し、サイバーセキュリティリスクを総合評価。

不正アクセスやウイルス感染等による機器の誤動作や工場の稼働停止など産業制御システム特有のセキュリティリスクに最適な対策を講じることができ、ネットワーク化された工場の安全に貢献。



■ ラックを代表する監視サービス「JSOC®」にサイバー保険を付帯（2018年10月）

ラックを代表するセキュリティ監視サービス「JSOC® マネージド・セキュリティ・サービス」にサイバー保険を付帯した国内初のパッケージ商品、『事故補償パック for JSOC』の提供を開始。

サイバー攻撃への「守り」と「備え」を一体で提供。



■ 低価格な監視サービスを実現する「CloudFalcon」を提供（2018年10月）

セキュリティアナリストによる高度な監視サービス「JSOC® マネージド・セキュリティ・サービス」のノウハウを投入した、自動セキュリティ監視システム「CloudFalcon（クラウドファルコン）」を新規開発し提供を開始。

専門のセキュリティアナリストの判断を要せずに、高度で高品質なセキュリティ監視ができ、クラウド上でシステム稼働させることにより費用・運用負荷の大幅低減も実現。

■ 「ラックテクノセンター北九州」を開設（2019年1月予定）

セキュリティ事業における地域の技術拠点となる「ラックテクノセンター」を北九州市に開設予定。

主にセキュリティ監視センター「JSOC®」の基幹システム「LAC Falcon®」の開発および保守機能の一部を担う。北九州地域の人材採用を拡大し、セキュリティ技術者の育成を計画。

名 称	ラックテクノセンター北九州
所 在 地	福岡県北九州市小倉北区
面 積	約308㎡（約93坪）
開 設 日	2019年1月（予定）
運営開始日	2019年4月（予定）
従業員数	15名（2019年4月時点予定）



- ※ 本資料は2018年11月現在の情報に基づいて作成しており、記載内容は予告なく変更される場合があります。
- ※ LAC、ラック、JSOC、サイバー救急センターは株式会社ラックの登録商標です。
- ※ その他記載されている会社名、製品名は一般に各社の商標または登録商標です。

株式会社ラック

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-16-1
平河町森タワー
Tel 03-6757-0107 Fax 03-6757-0101
ir@lac.co.jp
www.lac.co.jp